

リ レ - 随 筆

植物検疫の現場から(5)

国際カーフェリーの植物検疫

はじめに

下関・釜山間を運航していた往年の「関釜連絡船」という語感、時の流れの速さによるものか戦後生まれの筆者にとっても、なぜか郷愁を感じさせるものがある。はからずも本稿の依頼を受けたことにより、日韓航路について古き時代の情景に思いを馳せてみた。

日露戦争直後の明治 38 年、山陽汽船商社が苓岐丸を下関と釜山間に就航させたのが関釜連絡船の始まりである。その後日本の大陸進出と朝鮮半島統治という日韓両国にとって不幸な時代に突入、航路の発展とは裏腹に悲しい往来の場となったと聞いている。そして終戦を迎え、多くの新鋭船が就航と廃止を繰り返し、ついに昭和 45 年 6 月、わが国初の国際旅客カーフェリー「関釜フェリー」が誕生したわけである。異国の地へ直接車で乗り入れられるとあって、下関港にはマイカーが殺到、ターミナルには両国の国旗がかかげられ、色とりどりのチョグリ姿の韓国女性が港をにぎわせた。この「関釜フェリー」の就航は日韓の文化・経済交流の大動脈として大きな役割を果たすとともに、日韓親善のムードを高めていったと言っても言い過ぎではないだろう。

韓国の土

関釜フェリーは、日韓定期協議の合意に基づき、日韓両国が一隻ずつのカーフェリーを保有して、交互運航による毎日運航をスタートさせた。当時は日韓に架かる動くハイウェイと呼ばれ、人と車とコンテナを積んで海峡を往来するという全く新しい輸送手段として注目を浴びた。しかし、島国である我が国の植物防疫にとって、直接外国から一般車両が乗り込んでくることは初めての経験で、新たな課題を抱えることとなった。車両に付着する土の検査と、車内及びトランクに積み込まれた植物類の検査体制など、カーフェリーのメリットが損なわれることがないように十分な対策が要求されたのである。ご存知のように、土は国外からの病害虫侵入で最も注意を払わなければならないものの一つであり、各国とも土の輸入は禁止している。このため、フェリーから車が上陸する際、植物防疫官が丹念にタイヤのチェックを行い、土の付着した車は洗浄させている。最も多かった昭和 48 年には、年間 5,000 台の入国車両のうち 700 台もの洗車が行われている。

野菜の緊急輸入

日本から一番近い隣の国韓国とは、海で隔てられてはいるものの、わずか 220 km、釜山港で夕方関釜フェリーに積み込んだコンテナはもう翌朝には下関港に着く。このため、ありとあらゆる韓国産の農産物が、このフェリーを利用して輸入されており、その傾向は年々増える一方である。

特に、最近の日本は異常気象が多い。台風・豪雨・冷夏・水不足が国内の野菜産地に大きな被害を与え、市場の需給バランスを崩した時、野菜価格の高騰を引き起こす。このチャンスを下関周辺の青果業者は逃がさない。高値になったキャベツ、ハクサイ、キュウリ、タマネギなどを韓国からどっと輸入する。いわゆる野菜類の緊急輸入である。我々にとっては、突発的に大量の物が輸入ささ検査に忙殺される事態となるが、フェリー検査を受け持つ現場としては、やむをえないことであろう。ちなみに、冷夏だった昨年 8 月の輸入数量は、1 か月で例年の 1 年分に相当する約 2,000 t の野菜類が輸入された。

ポッターさんと米の山

韓国では、ソウルオリンピックを契機に経済情勢は急上昇、日韓防疫もますます活発化しており、平成 2 年の渡航者は 14 万人と最高を記録した。これだけ多くの往来があると、携帯品として持ち込まれる植物類も多い。毎朝 8 時半、「アンニョンハセヨ (こんにちは)」とポッターさん達とのあいさつで検査は始まる。

ポッターさんとは、正式には韓国語でポッター・ジャンサと言い、ポッターがふるしき包み、ジャンサが商売人、つまり「ふるしき行商人」という意味だそう。この人たちは 50～60 歳代の女性が多く、フェリーを我が家のごとく毎日のように日韓を往来しており、CIQ (税関・入国管理・検疫) の検査官達とも顔馴染みである。

検査カウンターは、このポッターさんが担いできた朝鮮人参、唐辛子、ニンニク、ゴマの葉などで山積みとなり、これを植物防疫官が片っ端から検査していくのである。平成 5 年度の検査件数だけで 1 万 3 千件にものぼっている。

また、昨夏の異常気象による米不足のため、今年の春先からの韓国米持ち込みは物凄く、ほとんどの乗客が 100 kg 近い米を持ってくるのである。これだけ大量の植物を検査した事例はかつてない。検査場は人と米の山となり、1 日 10 t 前後の検査が半年近くも続いた。

このような繁雑極まる国際フェリー検疫の現場で、多忙の中、連日病害虫侵入に対する水際作戦を展開しているのが下関出張所である。

(門司植物防疫所下関出張所 花岡清和)